



# 佐賀県立大学(仮称) 基本設計書(概要版)

令和7年11月





敷地南東側から

## 「まちのようにキャンパスをつくる」

- 学生、地域住民、企業、自治体、多様な人びとが 行き交い、関わり合い、学び合う場  
キャンパスをまちにひらく、まちのような思想でキャンパスをつくる  
学びの場を超え、佐賀の新たな価値を創出する拠点になることを目指す
- キャンパスを一つの「まち」と見立て、様々な たまり場 や 通り、広場 が立体的に点在し、思いがけない偶発的な出会いや協働が  
生まれるような空間を “キューブ” と “コモンズ” で構成する

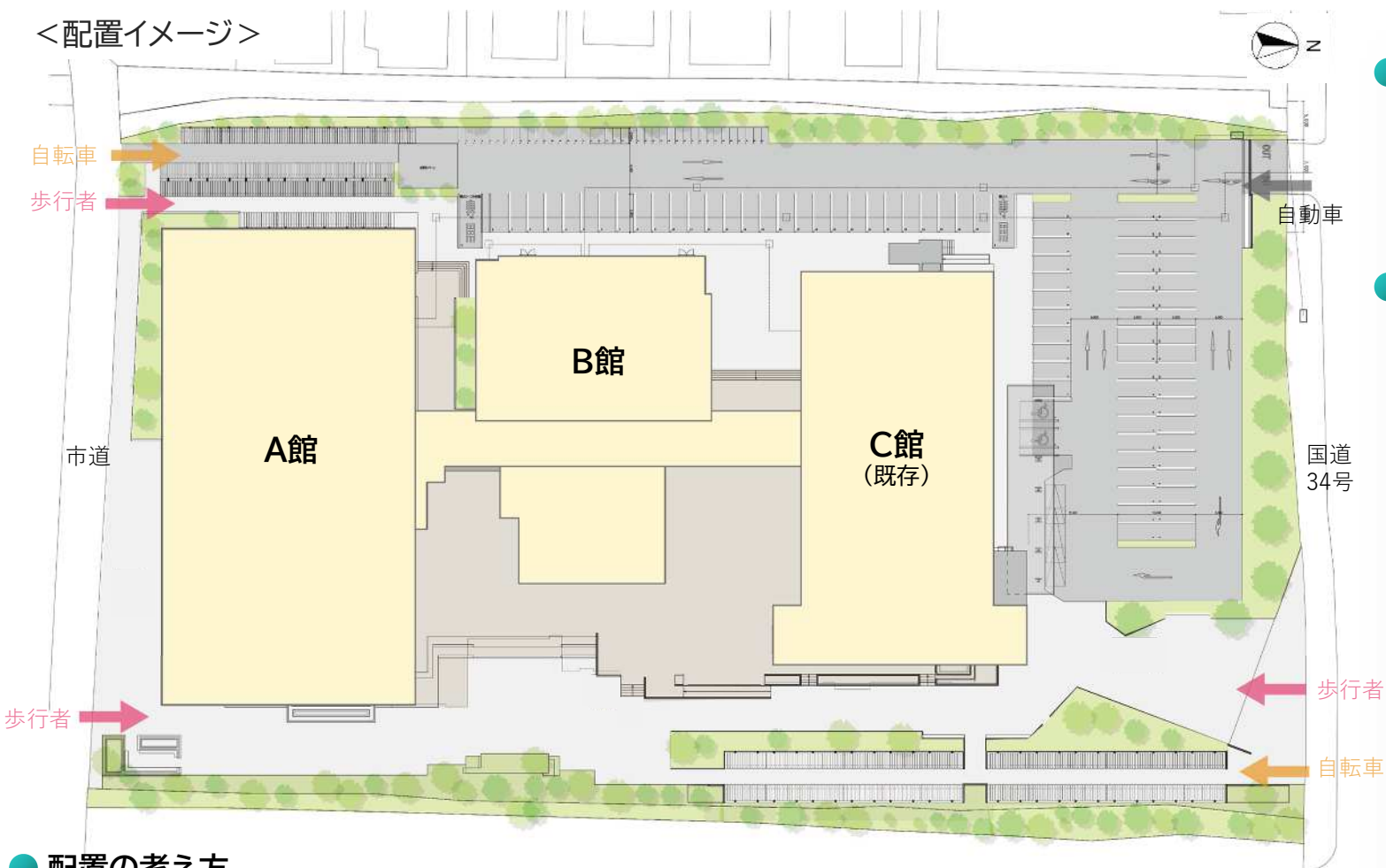
□ キューブ  
個人学習からグループワークまでの多様なスケールの活動や、利用目的・  
気分に応じて選択して活用するバリエーション豊富な活動空間

□ コモンズ  
多様な人びとが日常の中で自然に交差し、対話や協働が偶発的に生まれる場

## 2. 配置計画 / 計画概要

- 佐賀県立大学(仮称) 基本設計書(概要版) -

### <配置イメージ>



### ● 計画地

所在地 佐賀市八丁畷町8-1  
敷地面積 13,530㎡  
用途地域 第一種住居地域/近隣商業地域

### ● 計画概要

#### □ A館

延べ面積 6,556㎡ / 階数 4階  
構造 鉄骨造 / 建物高さ 21.15m

#### □ B館

延べ面積 1,188㎡ / 階数 1階  
構造 鉄骨造 / 建物高さ 9.15m

#### □ C館(既存建物)

延べ面積 4,830㎡ / 階数 4階  
構造 鉄筋コンクリート造・鉄骨造  
建物高さ 20.55m

### <講義室>

大講義室	1室 (355席)
中講義室	2室 (120~150席)
小講義室等	30室 (20~30席)

#### □ その他

駐車台数	約 80台
駐輪台数	約 720台
バイク置場	約 40台

### ● 配置の考え方

#### ■ まちのようにキャンパスをつくる

A館、B館、C館の3棟に分けて校舎を計画  
キャンパス内に学びの場を分散し、多様な人びとが行き交い、関わり合い、学び合う場をつくる

#### ■ 周辺環境への配慮

敷地西側の既存低層住宅に配慮し、人びとが集いにぎわうオープンスペースは敷地の東側に配置

#### ■ 豊かな外部空間の創出

敷地の東側には、学生と地域がゆるやかにつながるオープンスペースを計画  
塀を設けず、まちへ開いた構成とし、緑やベンチを配した心地よい環境で、自然な交流が生まれる場とする

# 3. 平面計画

- 敷地南側から、学生が主に過ごすA館、大・中の講義室があるB館、主に教職員の部屋や事務機能があるC館の順に配置
- 建物へのアプローチは敷地東側に設けたオープンスペース側とし、建物と外構空間が一体的に利用可能な配置
- 2階部分に渡り廊下を設置し、建物全体を一体的に利用
- 講義の規模や用途によって小講義室を2室、3室つなげて一体利用を可能とするなど、学びの多様化に柔軟に対応
- 対話や協働が偶発的に生まれる場所として、全てのフロアに多様な commons を設置
- 講義室と廊下の間は透過性のある間仕切りとするなど、授業や研究の姿を見える化することで、学びの意欲を高める



## <各階ゾーニング>



### A館

- 1階：学生が自然に集まり交流できる様々な形状の commons、地域連携センター
- 2階：自律的な学びと交流を促す図書館、 commons
- 3-4階：可変性のある小講義室、少人数でも使える commons、プレゼン等にも利用できる3、4階を貫く階段型の commons

### B館

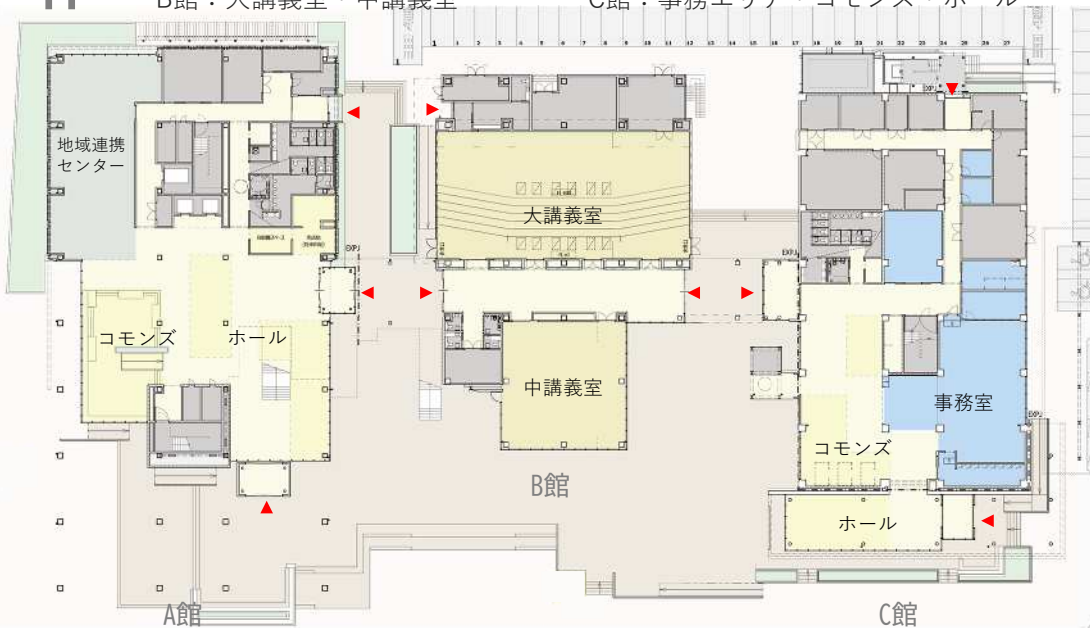
355人収容可能な大講義室、外部空間と一体的に利用可能な中講義室  
 キャンパスの中心に位置する中講義室の上に屋上テラスを設置

### C館

- 1階：学生や来訪者の受付を行う窓口機能、 commons
- 2階：各館と往来可能な位置に小講義室、中講義室、事務機能
- 3-4階：教員室に加え、教員と学生が交流できる commons を設置

# 4. 各階平面プラン

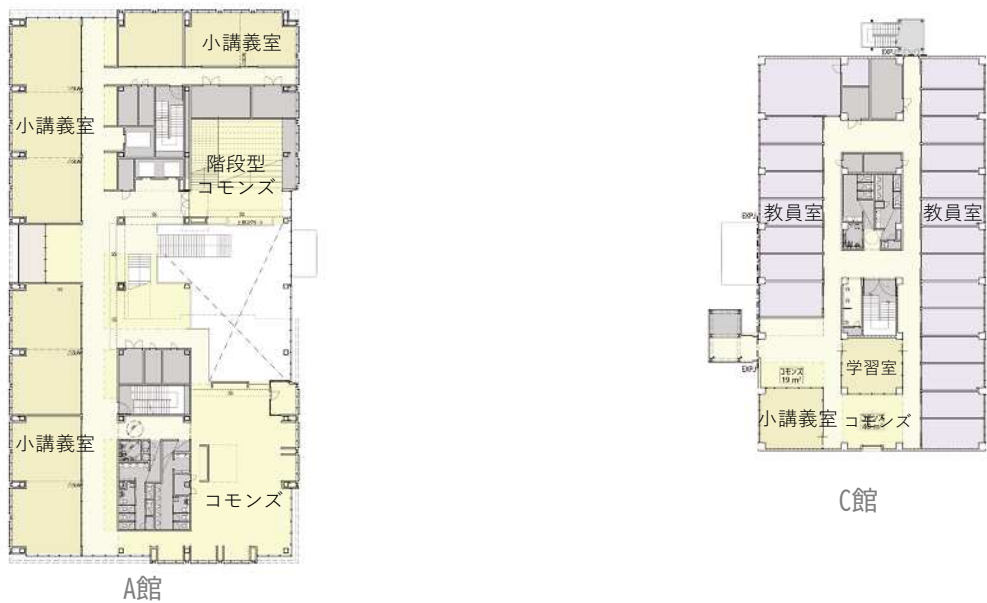
**1F** A館：commons・ホール・地域連携センター  
 B館：大講義室・中講義室 C館：事務エリア・commons・ホール



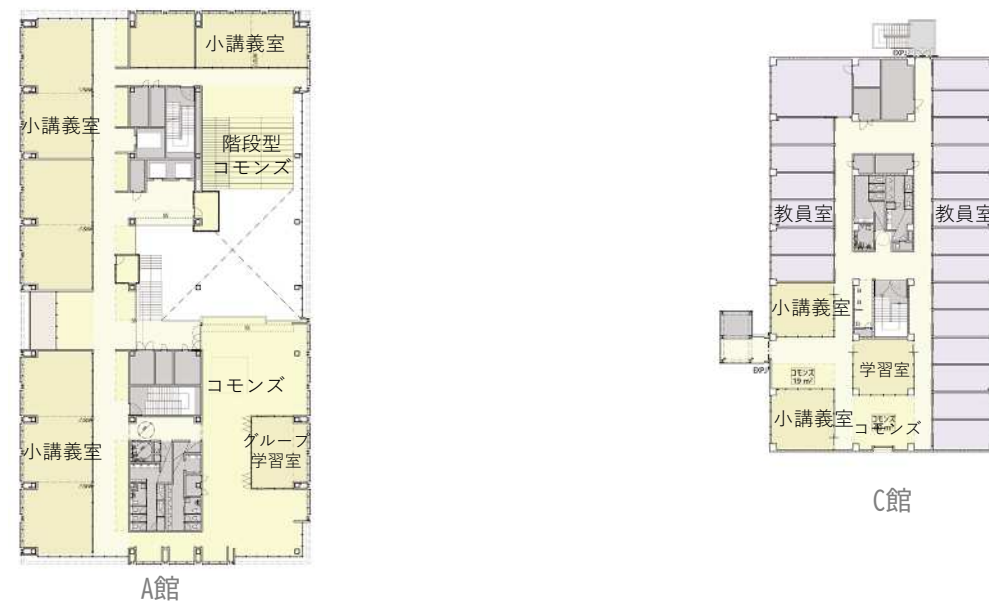
**2F** A館：図書館・commons・グループ学習室  
 B館：渡り廊下・屋上テラス C館：講義室・事務エリア・commons



**3F** A館：小講義室・階段型commons C館：教員室・小講義室・commons



**4F** A館：小講義室・階段型commons C館：教員室・小講義室・commons



# 5. 内観イメージ(1)



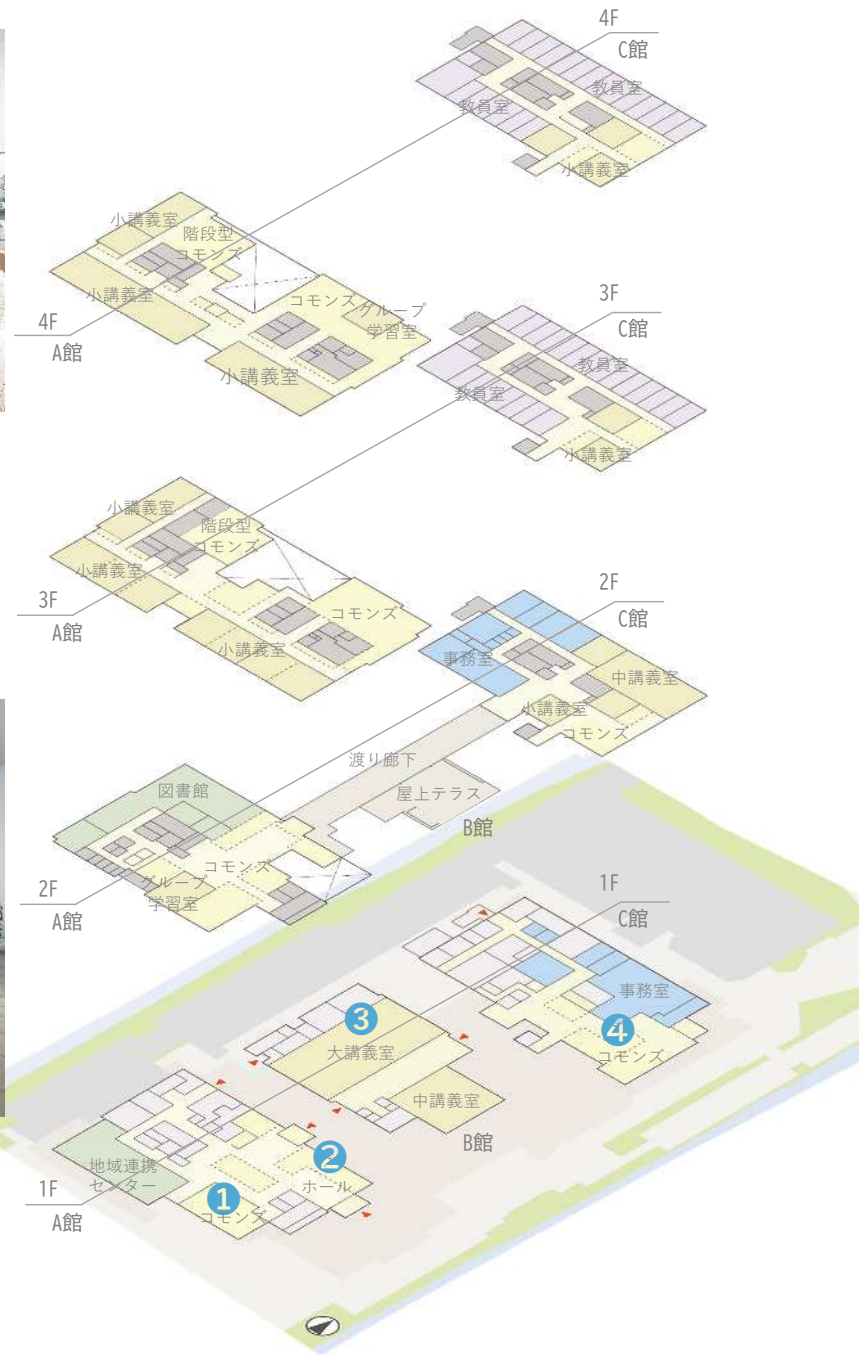
## ① A館1階/コモンズ

南側のコモンズは1段床を下げ、プレゼン等にも利用できる空間とし学生と地域・企業等とのコラボレーションが生まれる場をつくる。



## ③ B館1階/大講義室

大講義室は355人収容の段床の固定席  
中講義室は150人収容の可動席



## ② A館1階/エントランスホール

1階東側の風除室を入ると開放的な4層吹き抜けに様々な素材のキューブが顔を出しにぎやかな雰囲気を演出



## ④ C館1階/事務室・コモンズ

大学事務や就職支援を行う執務空間とコモンズを一体的に設え、学生や来訪者がわかりやすい位置に受付カウンターを設置

# 5. 内観イメージ(2)



## ⑤ A館4階/グループ学習室

コモンズ内に建具を開閉できるキューブを設け、閉じると部屋として利用でき、開くとコモンズと一体的に使うことができる可変性を備えた空間とする。



## ⑦ A館3階/小講義室・コモンズ

小講義室と廊下はガラスパーテーションで間仕切り、学習空間が連続する開放的な計画。廊下にはカウンター席やソファ席を設えたキューブを配置し、少人数で滞在できる場所をつくる。



## ⑥ A館3,4階/階段型コモンズ

上部にスクリーンを設置し、プレゼン等が行える多目的な空間とする。階段型のコモンズや東西に連続するコモンズは北側からの安定的な採光が注ぎ込む快適な吹き抜け空間とする。



## ⑧ A館2階/コモンズ

各階のコモンズや2階の図書館等に活動が溢れだし刺激しあう空間とする。

# 6. ユニバーサルデザイン / 環境への配慮 / 設備計画

## ● ユニバーサルデザイン

「さがすたいる」の考え方を踏まえ、性別、年齢、障害の有無などに関わらず、多様な人びとが安心して利用できる大学施設とする

## ● 環境への配慮

ZEB Ready※を達成し、環境に優しい大学を目指す

- ・ 外壁、屋根、開口部等の高断熱化による熱負荷低減
- ・ 高効率の設備機器の採用

※ZEB Ready：太陽光などの再生可能エネルギーを使う前の段階で、エネルギー消費量を50%以上削減

## ● 設備計画

### ■ 学生の居場所と交流空間

- ・ 空間用途に合わせた照明計画
- ・ 多様な学びの空間に必要なWi-Fi アクセスポイント
- ・ 授業形態に応じた映像・音響設備
- ・ 多様なコンテンツやサービスに対応可能なデジタルサイネージ
- ・ コミュニティ形成の場であるコモンズには輻射空調を採用
- ・ 大学施設の利用形態に適応した空調ゾーニング計画

### ■ 環境負荷低減

- ・ 空調熱源に省エネ効果の高い高効率空調機を導入
- ・ 換気設備には利用人数の変動に柔軟に対応するCO2センサーを採用
- ・ LED 照明器具、各種センサー、制御システムの採用
- ・ 太陽光発電設備の導入



# 7. 校舎建設費 / スケジュール(予定)

## ● 校舎建設費 (概算)

■ 約104億円 ※R7.10月時点



- ・実施設計の進捗
- ・近年の物価、人件費の上昇率

■ 130~140億円 程度

※県立大学整備にかかる全体事業費の内数。

※設計、佐賀総合庁舎の移転関係、システム・備品等の費用は含んでいない。

## ● スケジュール(予定)

年 度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
設 計			● 基本設計 ●	● 実施設計 ●				
工 事	A館 (新築)				●			● 利用開始
	B館 (新築)				●	●		
	C館 (改修)				●	●		
							★開学	

